

マラソン大会とマラソン記録会の違い

1日にマラソン記録会を行いました。天候を心配しましたが予定通りできてよかったです。また多くの保護者ご家族の方々に応援頂き、子どもたちは張り切って走っていました。



先日の試走後に「〇位やった！」
「本番に〇位以内なら〇〇買ってもらえる」と嬉しそうに話してくれる子どもたちを「すごかったね」と微笑ましく思いながらも、自己ベストが出たことにもっと着目し、順位以外のところで、これまでの自分の頑張りや成長を確かめられる記録会にしたいと思いました。学校でも来年度に向けて先生方と協議を重ねます。



昨日ある学年の教室へ行くと、担任が『マラソン大会とマラソン記録会』何が違うと思う？と尋ねていました。人と勝負するのが「大会」、記録をねらうのが「記録会」。だから、試走のタイムを超えられるか、昨年度と同じコー



スを走る学年は前のタイムを上回ることをめざして走ろうと話していました。

記録会本番では、朝マラソンの子どもたちの頑張りを見ているからこそ、一人ひとりの力走に心が熱くなりました。中には、スタート直後に転んでしまった子が、すぐに起き上がって最後まで走り切り、ゴールした瞬間に悔しさから涙があふれていましたが、予想していなかった出来事にあっても、今できる自分の



ベストを尽くして戻ってきた姿にその子の成長を感じました。けががなかったのは幸いでした。また、走り終えた6年生の子たちが、ゴールをめざす仲間を最後まで見守っていた姿にクラスの高まりを感じるそんな記録会となりました。

